

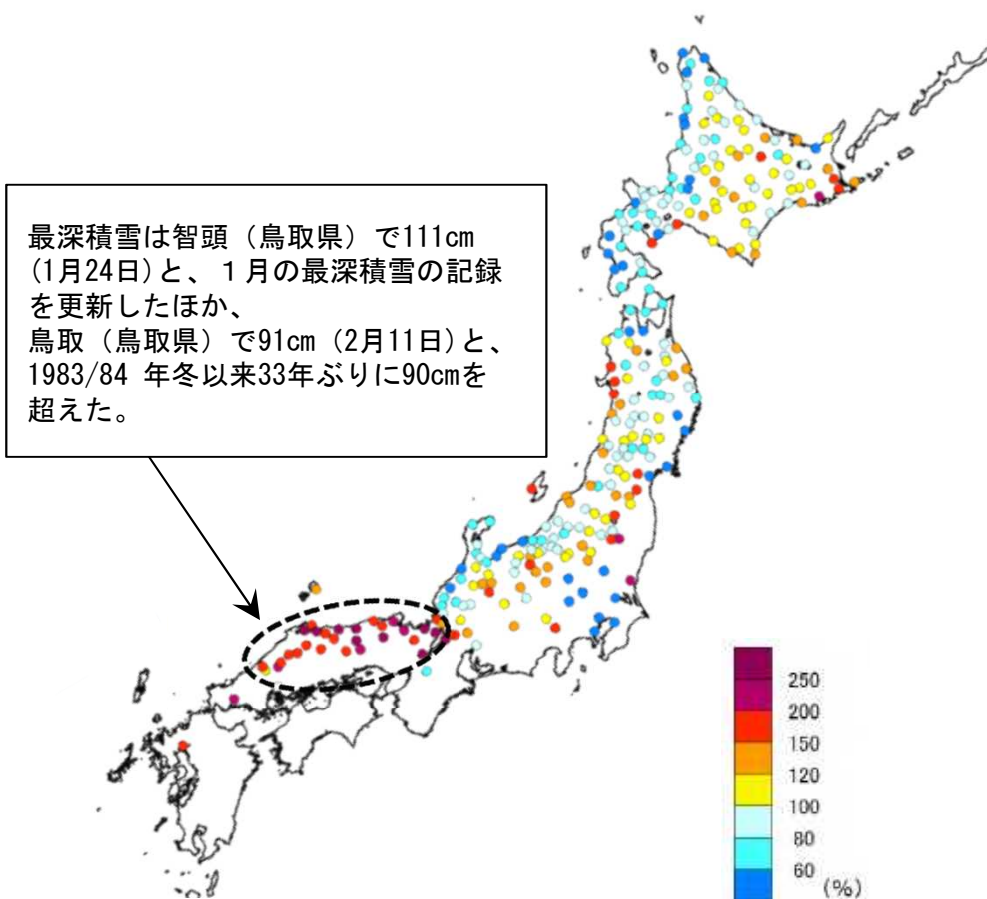
平成28年度の降雪・道路除雪費等の状況について

全国積雪寒冷地帯振興協議会

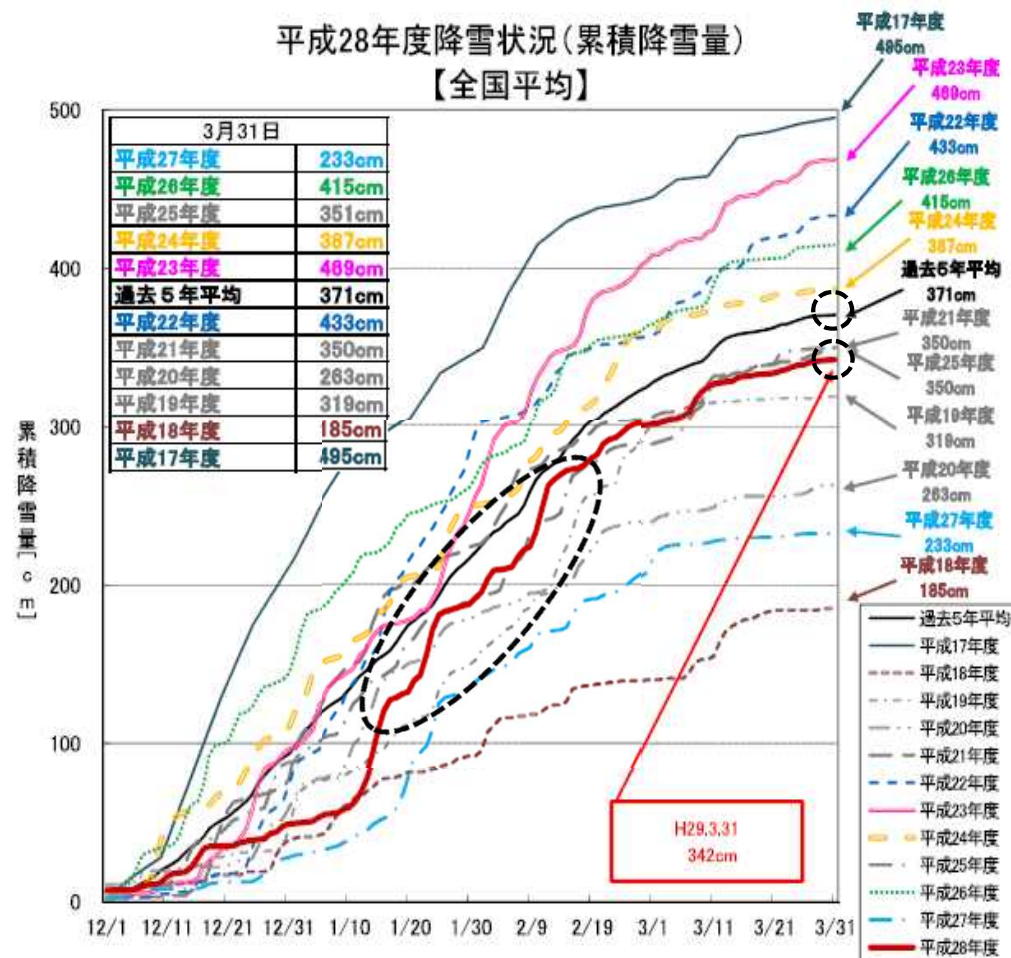
■ 平成28年度の降雪状況

- 平成28年度は、北日本日本海側はかなり少なく、東日本日本海側は少なかったが、1月中旬と2月中旬には山陰地方で大雪となり交通障害や農業施設被害が発生した。

2017年冬(2016年12~2)の最深積雪平年比



平成28年度降雪状況(累積降雪量)【全国平均】

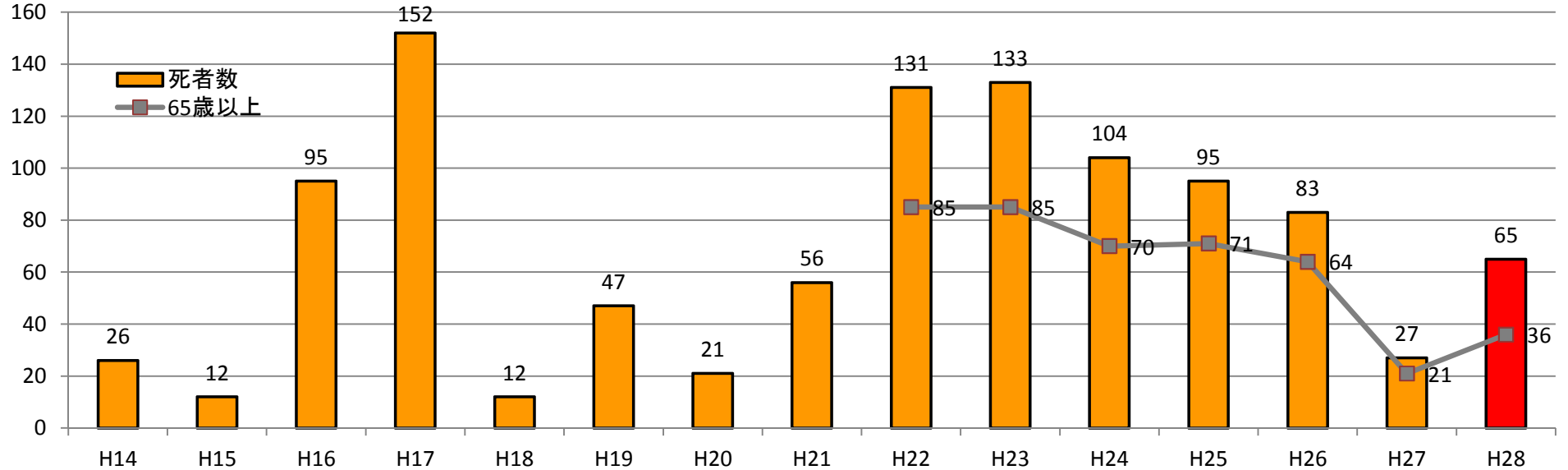


過去5年平均（371cm）よりやや少雪（342cm）だが、1月中旬から2月中旬にかけて集中的な降雪があった。

■ 雪による被害状況

1. 人的被害

(1) 年度ごとの死者数推移 (全国)



(2) 地域別死傷者数

	北海道		東北		北陸信越		その他地域	
	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
H27 ①	11	241	9	210	3	89	4	91
H28 ②	15	165	20	303	14	174	16	194
増減(②-①)	4	▲76	11	93	11	85	12	103

※負傷者数は重傷・軽傷を合わせたもので、雪に関わらない交通事故・転倒は対象外

2. 建物被害 (地域別発生件数)

	北海道		東北		北陸信越		その他地域	
	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家
H27 ①	6	13	8	13	9	5	24	32
H28 ②	1	1	25	28	26	14	234	99
増減(②-①)	▲5	▲12	17	15	17	9	210	67

※住家被害は前回・半壊・一部破損・浸水が対象

出典: 消防庁「今冬の雪による被害状況等」(平成29年5月9日)

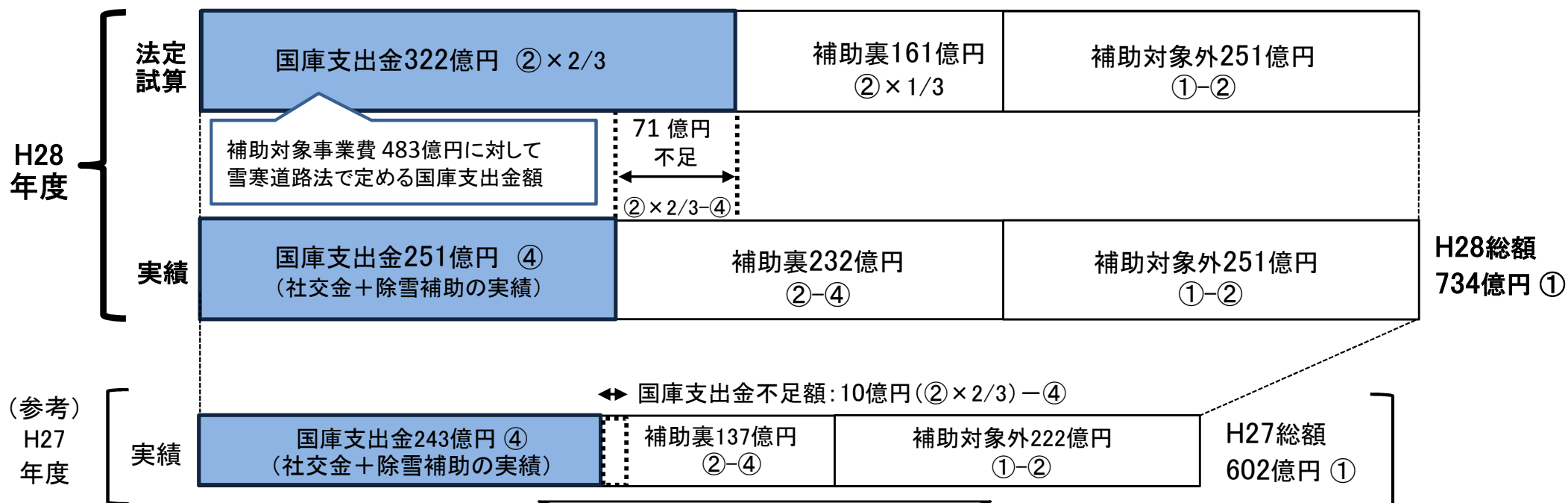
■ 道路除雪費の国庫支出金の確保について（会員道府県）

(①~⑤ 単位:億円)

年度	①道路除雪費	②補助対象事業	③交付決定事業費	④国庫支出金 ③×2/3	⑤交付決定率 ③/②
H27	602	380	365	243	96%
H28	734	483	377	251	78%

前年度から
18ptの減少

補助対象事業	春先除雪工、準備工(安全施設の設置・点検等)、基本待機料
補助対象外事業(準単純除雪工)	道路除雪工、歩道除雪工、運搬排雪工、消雪工、薬剤散布工、雪庇処理工



- 地方自治体が安心して、万全の道路除雪ができるよう、道路除雪費に係る国庫支出金総額の確保
- 道路除雪補助の確実な実施

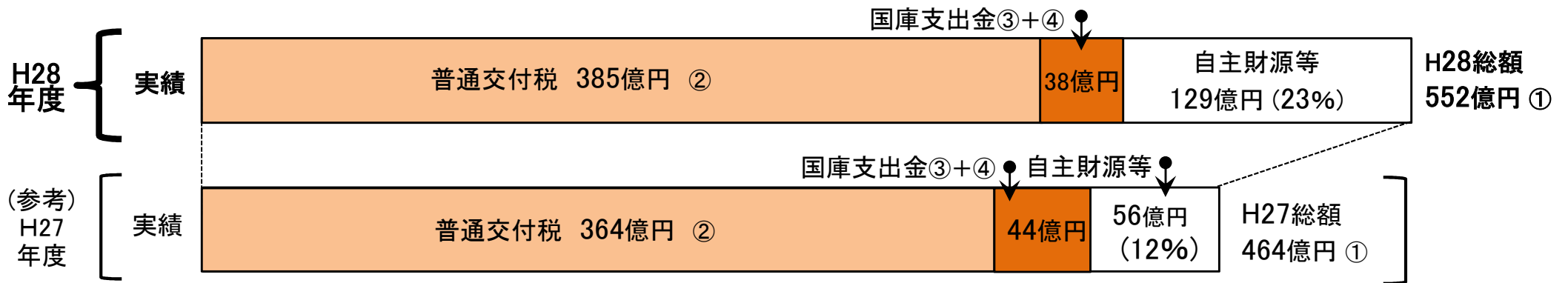
■ 道路除雪費の国庫支出金等の確保について（会員市町村）

（①～④ 単位：億円）

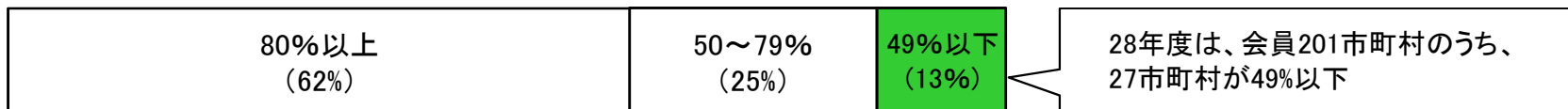
年度	①道路除雪費	②普通交付税 ※	国庫支出金		⑤普通交付税・ 国庫支出金率 (②+③+④)/①
			③社会資本整備 総合交付金	④臨時特例措置	
H27	464	364	44	0	88%
H28	552	385	38	0	77%

前年度から
11ptの減少

※寒冷補正（積雪度）による増加需要額のうち、道路橋りょう費（面積分）



※道路除雪費に対する普通交付税の除雪補正増加額の割合（会員201市町村）



- 雪寒地帯の道路除雪に関する特別な財政需要に配慮した特別交付税等の配分
- 地方自治体が安心して万全の道路除雪ができるよう、道路除雪費に係る国庫支出金総額の確保
- 除雪補助の確実な実施と、豪雪時における臨時特例措置等の追加予算を確保